

2022年度選考



公益社団法人日本青年会議所

## JCI JAPAN TOYP エントリーシート



性別	女		
ふりがな	つちやのぞみ		
氏名	土屋 望生		
所属企業・団体名	株式会社日添	所属企業・団体役職	取締役
活動カテゴリー	<input type="checkbox"/> ビジネス、経済、起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理、環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成、世界平和、人権 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治、法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input checked="" type="checkbox"/> その他（地域）		
活動エリア及び活動内容	<p>熊本県五木村（九州の内陸部で最も人口の少ない955人の自治体）にて、村民がご機嫌に日々を過ごすこと、やりたいことがやれている状況を目指し、株式会社日添、五木村複業協同組合、NPO法人いつつなぎの3つの法人を介してまちづくりをしている。村民の特技や地域資源を活用した地域商社、村内事業者への人材派遣・外部人材のマッチング、デザイン制作、カフェ経営、移住定住促進などの事業を推進している。</p>		
質問①	<p><b>Q1. この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか（ビジョン）</b></p> <p>五木村の住人が自分の生き様や働きざまに誇りを持ち、自身の暮らしを楽しむことによるさらに良い村の実現を目指している。そのためには、村民が楽しめる仕事、趣味と、安定した収入が必要となる。「楽しさ（やりがい、趣味）」と「収入（仕事・副業）」の面がクリアできれば、Uターンの促進や定住率増加で人口を保持することができ、持続可能な村作りが可能になると考えている。</p>		
質問②	<p><b>Q2. 未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください（アクション）</b></p> <p>収入づくりとして事業者の売上UP・雇用促進を目指した事業支援を実施している。事業推進に伴い人材不足が懸念されるが、人材派遣や外部人材マッチングで対策を打っている。また、村民が趣味で制作したモノの商品化を進める副業プロジェクトを推進中。趣味や自分が楽しんで制作してるものが収入に変わるので、楽しさと収入の双方を上げることができる。村民だけで製品化できないものは、株式会社日添独自で製品化している。</p>		
質問③	<p><b>Q3. あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか（インパクト）</b></p> <p>五木村は、これからほとんどの自治体が直面するであろう「人口減少」という課題の最先端を走っている。九州最少の村が持続可能な自治体を実現できるか否かは、日本社会全体としても貴重な記録になると思われる。こうした環境で、たくさんの村民とたくさんの小さなチャレンジを生み出すことは、村の持続可能性へのインパクトはもちろん、これから過疎化を迎える全国の集落・自治体へインパクトをもたらすものだと考えている。</p>		
経歴 自己PR	<p>五木村で生まれ五木村で育ち、東京での社会人生活を経て五木村にUターン。五木村が好きというよりはここに住んでいる人たちのことが大好きです。理由は「できることが多い人が多い」から。娯楽のないこの村では、自身で生活を楽しくアレンジする術と、ある程度の楽観的感覚を持っていないと生活できません。そんな技術や技、生き様や働き様を再定義して世の中に発信することで、「五木村民ここにあり」を表現していきたいです。</p>		
活動内容写真			